

令和5年度 学校評価アンケート結果分析

1 保護者対象

- ・35問の質問すべてで、肯定的な回答の割合が多かった。
- ・教育方針、家庭との連携、教員の愛情や熱意、社会生活の基礎的・基本的な力を身につける指導等、学校教育の重要な内容に関しては、90%以上が肯定的な高い評価を得られている。（質問1、9、12、13、15、16、32、33）
- ・「わからない」という割合が20%以上の質問は3項目であった。
 - 21「学校の先生は働き方改革に努めている」（前年度比+1.7%）
 - 25「学校では体罰の防止に努めている」（+4.3%）
 - 26「学校ではいじめや差別を許さず厳しく対応している」（+6.5%）
- ・「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という割合が20%以上の質問はなかった。10%以上の質問は5項目であった。

6「いろいろな人との交流」	12.6%（-1.6%）
7「教育方針や指導内容の保護者（地域）への発信」	11.2%（-2.5%）
8「自己評価の保護者（地域）への発信」	12.1%（-2.1%）
10「授業や行事等の公開」	10.8%（+4.7%）
11「進路に関する情報の児童生徒や保護者への発信」	10.8%（+0.6%）

2 生徒

- ・72.1%が肯定的な回答であり、概ね良好な結果となっている。
- ・否定的な回答も6.4%ほどあるので、その項目について改善を図る必要がある。10%以上の質問は3項目であった。

5「家の人が相談しやすい雰囲気がある」	10.6%（-13.4%）
12「個別の教育支援計画の説明」	10.6%（+0.6%）
20「いじめや差別を許さず厳しく対応」	13.3%（-6.7%）

3 考察と課題

- ・保護者の回収率は81.6%で、昨年度より4.9%増加した。
- ・6「いろいろな人との交流」、7「教育方針や指導内容の保護者（地域）への発信」、8「自己評価の保護者（地域）への発信」の質問については、否定的な回答が10%以上ではあったが、ホームページによる情報発信、行事等にマスコミをよぶ、喫茶店の経営などを行うことにより、保護者や地域の方に認知され改善した。
- ・10「授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している」の質問については「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が、前年度より6.3%減少している。これは、新型コロナウイルス感染症が5類になったため、制限をなくした授業参観や行事等を要望する気持ちの表れだと考えられる。しかしながら、インフルエンザの流行等学校によっては学年・学級閉鎖等を強いられている現状であるため、感染症対策をとったうえで対応していきたい。

- ・「わからない」の割合の多い項目については以下の課題が考えられる。
 - 21：「働き方改革」については直接保護者に伝わりにくい。
 - 25、26：個別の事例については家庭と連携できたが、アンケート調査や職員研修など学校として取り組んでいるいじめ対策について保護者への周知が十分でなかった。
- ・生徒のアンケート結果では、5「家の人と相談しやすい雰囲気がある」、20「いじめや差別を許さず厳しく対応」の質問については、否定的な回答が10%以上ではあったが、生徒とのコミュニケーションを重視した寄り添った指導により大幅に改善された。